

九州兼喜

2021.6
No. 141

令和3年度

「全国安全週間」 にあたって

清水建設株式会社 九州支店
安全環境部 安全グループ長 田中 秀樹

今年も『持続可能な安全管理 未来へつなく安全職場』のスローガンのもと、6月1日から6月30日を準備期間、7月1日から7月7日を本週間として実施されます。全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ今年で94回目を迎えます。

令和2年度は、全社で死亡災害が4件、休業災害47件、度数率0.64、強度率0.40と、2019年度に比べ死亡災害が増加、度数率は横ばいでした。九州支店では死亡災害0件（令和元年度0件）、休業4日以上6件（令和元年度6件）となりました。死亡災害については統計外となっていますが、クローラクレーン転落事故により運転手が死亡しました。令和元年度の九州支店延労働時間がおおよそ400万時間で災害発生件数が32件（休業4日以上を含む）に対し、令和2年度はおおよそ560万時間で災害発生件数は68件（休業4日以上を含む）と1.4倍の延労働時間に対し、労働災害の発生は2倍以上に増加しており、非常に悪い安全成績となりました。高齢化が進む建設業では転倒による休業災害が多く発生しており、九州支店でも転倒による休業災害が3件も発生しています。これらのことを受け厚生労働省は「エイジフレンドリー」をキャッチフレーズに、躓き、転倒のリスクが少ない職場づくりを推進しています。

令和3年度の九州支店安全衛生計画は、「ゼロ災を達成するための行動規範」として、「墜落災害の撲滅」「建設機械・クレーン関連災害の撲滅」「倒壊・崩壊災害の撲滅」「公衆災害、火災、インフラ損傷事故の撲滅」「石綿関連不具合の撲滅」の5項目に加え、九州支店独自の重点施策として、

6-1 「安全検討会の充実」

6-2 「火災」「インフラ事故」等の災害撲滅」

6-3 「凡事徹底の凡事の理解」

6-4 「エイジフレンドリーな作業環境の向上」の4項目に取り組み、より一層の災害防止を目指します。

「火災」「インフラ事故」等の災害撲滅については、昨年度、2件の火災と、8件のインフラ事故があり、火災については10年前の鹿児島で竣工間際の建物が全焼したことが記憶から薄れており、昨年の火災につながっているのではという懸念があります。インフラ事故については、ここ数年インフラ損傷事故防止の日を全社で取り組んできましたが、歯止めがかからないことを受け、今年度は、5月18日を「火災予防の日」、毎月16日を「インフラ損傷事故防止の日」として支店全体で取り組んでいきます。

「凡事徹底の凡事の理解」については凡事（安衛法、社内ルール、安全書類等）の理解を深めるため、ICT等を活用し、現場の職員、作業員等関係者に教育周知を進めていきます。

「エイジフレンドリーな作業環境の向上」については厚生労働省も推奨しているように、安全通路の段差解消や登りやすい階段、明るい作業場所など高齢者にも優しい現場づくりを推進するとともに「エイジフレンドリー巡回」を行い、各作業所の点検指導を推進してまいります。

昨年初めより始まった新型コロナウイルス感染拡大についてですが、変異型の蔓延の兆しもあり、作業所内や支店内にも影響を与え、現場での作業や支店内の業務にも支障をきたす状況となってきています。また、ワクチン接種の状況もまだまだこれからという状況で、引き続き感染予防対策に努める必要があります。全社で取り組んでいる「ニューノーマル(NN)活動」は、アフターコロナを見据えて新しい仕事のやり方を考える、働き方改革に向けた活動そのものであり、ぜひ、生産性を高め、働きがいの向上、健康経営の実現につなげていただきたいと思います。これまでのアタリマエから脱却し、新しいアタリマエをつくることは、企業文化を変えていくことにもつながります。新しい取り組みを進める過程で、うまくいかないことも出てくるかと思いますが、都度改善を図り、企業改革に挑戦していきましょう。

また、今年梅雨入りも梅雨明けも早まる予報です。熱中症対策を早めに備え、教育・環境整備・健康管理・巡回指導を習慣化するとともに、災害防止活動にご協力をお願いします。

※全国安全週間ポスターは6ページにあります。

着任のご挨拶



清水建設(株)九州支店
支店長

坂尾 彰信

4月より、九州支店に着任しました坂尾彰信と申します。どうぞ、よろしくお願ひいたします。兼喜会の皆様方には、日頃より多大なるご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。私は、神奈川県生まれで平成元年1989年に清水建設に入社しまして、最初の5年は東京の現場で勤務をしていました。その後、名古屋支店に異動し、22年間、愛知県内・静岡県内で同じく現場勤務をしておりました。2017年からは3年間子会社の日本建設株式会社に出向し、2020年に25年ぶりに東京支店に異動し、1年を経て今日に至るという経歴です。九州はまったく初めてですので、いろいろなことを教えて頂き、早く皆様の仲間入りができればと思っておりますので、改めてよろしくお願ひいたします。

さて、昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態が続いており、皆様も大変なご苦勞をされた中、様々な課題に対応していただき、心より感謝申し上げます。みなさんご承知の通り3度目の緊急事態宣言が発出されましたが、従来型と比較して感染力が強く重症化リスクの高い変異ウイルスが更に拡大しているこの状況は、残念ながらすぐにはなくなりそうもありませんので、皆様におかれましても大変ですけれども、ここは今一度ご注意いただき、日頃も慎重に行動していただきたくお願ひ申し上げます。

清水建設に入社以来、長きにわたって兼喜会の皆様にお世話になってまいりましたが、中でも強く印象に残っておりますのは、私の最後の現場勤務でありました、愛知県の名古屋駅前的大名古屋ビルディング建設所であります。延床面積約90,000㎡の旧建物を解体し、地下4階、地上34階、延床面積約150,000㎡の新築工事でありましたが、基礎杭の工事の際に地中障害

物の発生により、工事が約5ヶ月遅延してしまいました。それにより全工期、休むことなく昼夜2交代での工事となり、また、とても地下水位が高い地域でもありましたので、私の経験の中でも極めて難度の高い工事でした。そのような状況の中、兼喜会の皆様にたくさん協力していただきました。朝夕の打合せはもちろん、日々の安全パトロールや様々な行事も積極的に提案、実践していただきました。コミュニケーションの強化の為、朝礼広場入口に「あいさつの門」を設け、毎朝そこで元気に挨拶をすると言った提案を出していただいたり、また、その際、安全当番の方々が列を作って、作業員の皆様全員とハイタッチをして、入場していただく等の提案を出していただき、みんなで実践をしました。(コロナ禍においては、全くふさわしくない行為とはなりますが…)昨今では考えられないような仕事ですが、このような突貫工事といわれる現場において、無事竣工引渡ができ、品質的にもお客様に喜んでいただくことができたのは、まさしく兼喜会の方々、職長の方々が親身になって盛り上げ協力をしてくださったおかげでした。竣工まで1日も無駄にできない、追い詰められたような状況の中でも、現場を着実に進めるために必要不可欠なことは、コミュニケーションであるという事を、職長の皆様が真剣に訴えてくださり、常に前向きに最後まで盛り上げてくださった兼喜会の皆様には本当に感謝しております。無事竣工した後、兼喜会職長さん200人以上が集まってくださり、着工から竣工までの動画を見ながらの食事会と、最後に涙を流しながら肩を組んで歌った事は、私の思い出となりました。コロナ禍の中、まだ途中ではありますが、この4月5月とお世話になっておりますお得意先にご挨拶をして参りました。その際、九州兼喜会の方々にもわざわざ営業所までご足勞をいただき、お話をさせていただきましたが、皆様の「チーム意識」と「安全への責任」の思いの強さをお聞きし、とても嬉しく、また心強く感じました。歴史ある九州支店を、皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

終わりととなりますが、兼喜会の皆様の益々のご隆盛とご繁榮を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

着任のご挨拶



清水建設九州支店
副支店長

園木 祥久

4月1日付けで中橋副支店長の後任として、土木担当副支店長を拝命しました園木と申します。

九州兼喜会の皆様には日頃より当社の様々な活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わたしは平成元年に清水建設に入社し、最初の配属はご縁がありまして九州支店土木部でした。九州支店では約4年間、現場業務に従事しました。現場は長崎のハウステンボスと福岡市東浜の西部ガス地下タンクの2現場で、造成工事や躯体工事などを担当し、今でも心に残る貴重な経験をすることができました。

その後、土木東京支店に転勤となり、主に鉄道近接工事を中心に26年間現場業務に従事し、直近の2年間は土木東京支店土木第二部の部長を務め、今回28年ぶりに九州支店に戻ってくることができました。

この度は副支店長を拝命しまして、身にあまる重責ではございますが誠心誠意、全力で最善を尽くしてまいります。至らない点も多々あると思いますが「勤めるを以って拙を補う」の心構えで怠らず、逃げずに業務に取り組んでまいります。九州支店の業績向上に少しでも貢献できるように頑張りますので、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

昨年度、全社土木部門は受注・決算ともに好調で良い成績を残すことができました。今年度は引き続きコロナ禍が続くなか、工事

消化の繁忙が予測され作業の効率化・省人化等により、職員一人あたりの消化高アップが指示されている状況です。今夏は九州への影響は未知数ですが、延期されたオリンピック・パラリンピックが開催されます。また、近年は激甚化、頻発化する台風や豪雨災害、地震等の自然災害の発生も懸念されます。

コロナによる緊急事態宣言が再度発令されるなど、周辺環境は引き続き厳しい状況が予測されますが、どのような展開・状況になっても対応できるように、万全の準備を整え兼喜会の皆様と力を合わせて乗り切りたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

2024年度の法改正を視野に入れた「働き方改革」やコロナ禍による「NN活動」など仕事に対する取り組み方が大きく変化しようとしています。お客様に取めるものの品質確保、現場における安全確保は、第一に守らなければならない不変のものであります。

坂尾支店長の新体制のもと清水建設の職員が建土一体となって、明るく元気に前向きに業務を遂行しお客様の信頼を得ていきたいと思っております。そのためには、なにより兼喜会の皆様のご協力が不可欠であります。今後ともご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、九州兼喜会の益々のご発展と会員各社様のご発展、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

着任のご挨拶



清水建設九州支店
副支店長

三浦 秀樹

4月1日付で、田原副支店長の後任として事務担当副支店長を拝命致しました三浦です。

私は平成2年に入社して、まず北陸支店に配属され、約3年間、建築現場の事務を担当しました。この時の上司(工事長)が厳しくも優しさを持った方で、新入社員の私にとって多くを学び、鍛えられました。「鉄は熱いうちに打て!」とよく言いますが、作業所の受入教育も含め、人の教育は最初が肝心だと思つづく思います。

話は逸れましたが、現場事務担当の後、北陸支店工務部で約5年、その後は事業部門にて経理業務に携わって参りました。

北陸支店の後は、土木事業本部(現 土木総本部)、広島支店、建築事業本部(現東京支店)、財務部、北海道支店、そして再度の土木総本部経理部を経て、この度九州支店に着任致しました。

私は福岡県生まれではありますが、小学校1年時に東京へ転校しましたので、福岡県に住むのは約46年振りであり、九州支店における勤務も初めてですので、今後皆さま方に多々ご指導を賜ることになると思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、話は変わりますが、とある休日に市内を散策している折、住吉神社を参拝しました。境内に白髭稲荷神社があり、鳥居には、「奉納

清水建設九州支店 九州兼喜会 平成三年二月吉日改修」と記されていました。言い尽くされた言葉ではありますが、兼喜会と当社とは車の両輪であると改めて感じた次第です。

皆さまご存知のとおり、建設業は、高齢化及び労働力減少等への対応策として、「働き方改革」「生産性向上」「機械化(ロボット活用)」「女性活躍推進・外国人労働者(ダイバーシティ)」等、を進めています。建設事業は兼喜会と当社との共同作業であり、車の両輪として進むべき方向を同じくし、力を合わせて諸問題を解決しなくてはなりません。バラバラでは解決出来ないと思っています。

昨今はコロナ禍でいろいろな行事が中止または縮小されていますが、コロナ禍以前は、兼喜会と当社との行事が多々あったと聞いています。

将来も魅力ある建設業であり続けるためには、コミュニケーションを密にし、強固な関係を築く必要があります。これからも車の両輪として兼喜会の皆さまとともに、微力ながら、コロナ禍の中、明るく前向きに職務を遂行していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、九州兼喜会の益々のご発展と会員各社様のご隆盛、皆様方のご健勝を心より祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

兼喜会議事録

○役員会

令和3年3月1日(月) 15:30~

場 所：ホテルニューオータニ博多

出席者：篠森会長他17名

【議題】

1. 令和3年九州兼喜会定時総会の件
2. 全国連合兼喜会定時総会（北陸大会）の件
3. 青年部
4. 安全大会の件
5. その他
6. 各支部の意見

○理事会

令和3年2月12日(金) 10:00~

場 所：支店5階会議室

出席者：篠森会長他9名 調達部より谷口部長様

【議題】

1. 令和3年九州兼喜会定時総会の件
2. 第1回全国連合兼喜会支部長会議の件
3. 全九州兼喜会役員会日程の件
4. 青年部
5. その他

○理事会

令和3年1月13日(水) 12:00~

場 所：兼喜会事務所

出席者：篠森会長他9名 調達部より谷口部長様

【議題】

1. 令和3年九州兼喜会定時総会の件
2. 令和2年決算報告の件
3. その他

○理事会

令和3年4月8日(木) 12:00~

場 所：支店5階会議室

出席者：篠森会長他10名 調達部より谷口部長様

【議題】

1. 令和3年第1回全国支部長会議報告の件
2. 西日本地区交流会の件
3. 青年部
4. その他

○令和3年度清水建設九州兼喜会並びに 清水建設九州支店取引業者災害防止協議会定時総会

令和3年3月1日(月) 17:00~

場 所：ホテルニューオータニ博多

出席者：篠森会長他30名

事前に書面による議決を実施しました。

総会当日は理事、支部長、副支部長にお集まりいただき書面議決結果を報告しました。



○青年部幹事会

日 時：1月15日(金)12時~

場 所：兼喜会事務所

日 時：2月16日(火)12時~

場 所：支店5階会議室

日 時：3月8日(月)12時~

場 所：支店5階会議室

日 時：3月30日(火)16時~

場 所：兼喜会事務所

日 時：4月12日(月)12時~

場 所：支店5階会議室

諸行事

安全祈願祭

日 時/令和3年1月15日(金)

場 所/成田山久留米分院

豊川稲荷祭

日 時/令和3年2月12日(金)

場 所/支店社屋屋上

全国安全週間

持続可能な安全管理
未来へつなく安全職場

+ 7/1~7
2021 6/1~30

SHMZ

会員の動向

代表者名変更

○㈱フチカ (タイル) R3.1.12変更
旧会員名：洲上 格→新会員名：洲上 憲二

退会

○球陽生コンクリート㈱ (生コンクリート) R3.3.10
運天 先俊

〈訃報〉

謹んでご哀悼の意を表します。

○㈱フチカ (タイル)
洲上 格 殿 (73歳)
令和3年1月6日ご逝去



発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110